
たっぷりの恋

皿尾 りお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たつぷりの恋

【Nコード】

N4582D

【作者名】

皿尾 りお

【あらすじ】

あなたも、たつぷりな恋、してみませんか？明るく、たつぷりな恋をどうぞ。

「ごめんっ！今日、残業で行けそうにない！ホント、ごめんっ！」

……とても自信たつぷりの悪意。

私は彼にそう言われると、許すしかない。

彼の悪意はもはや、感嘆にアタイする。

……私があなたの浮気を知らないとも思っているの？

……でも、私は彼が好き。

だから、

「うえっ！？……ん、でも、仕事だから仕方ないよね。アタシはちょっと、買い物して帰るよ。頑張ってね！」

と、言っ、携帯を切る。

……彼を切ってやろうか？

・・・でも、私は彼が好き。

彼の自信たっぷりの悪意を、少し羨ましくも思ったりする。

私も自信をもって悪い事がしたい！

「ごめんねっ！今日、急な接待が入っちゃって！無理やりハゲ親父
どものお供！だから、ホント、ごめんね！（うっしっし。ホントは、
会社で人気の先輩とデートなのだ！）」

なぐんで、想像してみたりする。

・・・でも、私は、悪い事が出来ない。

だって、彼が好きだから。

・・・ん？彼は、悪い事が出来る・・・・・・・・ん？私を好きじゃない？

・・・

・・・

・・・まさかね！だって、彼は、浮気はするけど私を好きだって言
ってくれてるし！

・・・あ、でも、ちょっと、泣きそうだよ。

なんか、ちょっと、雨なんか降ってきたし。

傘持って、来てないし。

今日に限って、おろしたての靴だし。

“素敵な靴は、素敵な場所に連れて行ってくれる”って、言っただけで、出てこいっ！

そんな事を思っていると、私の頭の上にスッと傘が・・・

「ユキちゃん、何してんの！？こんな、雨の中で！風邪、引いちゃうよー!？」

誰だっ!?!?と思い、顔を上げると・・・会社で人気の先輩だ！

私は、泣きそうなのをこらえながら、

「あつ、なんでも、ないんです。先輩こそ、こんなところ彼女に見られたら、大変ですよ・・・」

私がそう言つと、

「はは、彼女なんか居たらいいねえ、こんな雨の日なんか可愛く傘なんかできちゃうし。ちょっと、雨、強くなって来たから、すぐそのバーで少しだけ飲まない？」

と、言ってきた。

願ってもないチャンスだ！自信はないけど悪い事しよう！

・・・ホント、お洒落なバーだ！

・・・先輩の細くて長い指・・・すごい、セクシー！

・・・あつ、まつげ、長いなあ。

・・・なんか、酔っ払ってきちゃったあ。

「・・・ねえ、この後、予定とかあるの？」

そう耳元でセクシーな声で囁き、腰に長い腕を回してきた！

悪い事だ！悪い事だ！

今がチャンス！悪い事！

「うぬぼれないで下さいね。先輩くらいの男なら、ごまんと居ますから。」

満面の笑みでそう言うと、私は、スツールをそつと降り、雨の上がつた店外に一人出た。

あまり星は見えないけど、私は夜空を仰ぎ、

「やった！悪い事、してやったぞ！会社の憧れの的を、振ってやったぞ！」

と喜んだ！

私は、すがすがしい気分でおうちに帰る事にした。

だって、私は彼が好き。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4582d/>

たっぷりの恋

2011年1月19日21時44分発行